

令和7年度 泉南市指定管理者管理運営施設の第三者評価委員会評価結果

対象施設：泉南市総合福祉センター

総評：B 標準的な水準を満たした内容を実施した

地域福祉の拠点施設として、SNS での情報発信やキャッシュレス化の取組などにより効果的な運営に取り組まれている点について評価します。

「りるば」の開設により利用者層の幅が広がったことで、施設全体が活性化されている点について評価します。

今後は、アンケート調査のサンプル数を増やし、利用者満足度を高める取組を行うことで、自主事業の参加者数の増加に努め、利用者層の幅が増えたことによる新たな可能性や課題へ、より積極的に取り組んでいくことを期待します。

1) 施設の設置目的の達成

① 利用促進の工夫【項目別評価：B】

〔コメント〕

- ・ SNS による情報発信、キャッシュレス決済への対応、貸出フロアの新設等の工夫が認められる。
- ・ 施設老朽化の下での利用者の増加に向けた取組が図られているが、積極的な広報活動や利用状況の把握等の取組が必要である。

② サービスの向上【項目別評価：A】

〔コメント〕

- ・ 『りるば』の運営と子どもから高齢者まで利用できる『飲食コーナー』を確保している点は、サービスの向上につながっており、評価できる。
- ・ 利用料金の値下げなど地域の人への利用を促す取組を行っている。

③ 利用者満足度【項目別評価：B】

〔コメント〕

- ・ アンケート調査による利用者満足度は高くなっているが、アンケートの回答数が少ないため、回答数を上げるための工夫が求められる。
- ・ サンプル数が少なく、満足度の測定には問題があるため、リピート率の継続測定に切り替えるなど、測定方法の改善が必要である。

2) 効果的・効率的な運営

① 運営上の工夫【項目別評価：B】

〔コメント〕

- ・ 幅広い年齢層が利用できるような取組がみられ、適切に実施されている。

- ・地域や外部団体との連携で、知識・技術が不十分な領域についても工夫がみられる。

② 収入の増加【項目別評価：B】

〔コメント〕

- ・『りるぽ』の設置や貸部屋の利用料引き下げによる稼働率アップなどにより、令和5年度と比較し収入の増加は認められるが、コストも増加している
- ・SNS での情報発信、キャッシュレス化等の効果を継続してモニタリングしていく必要がある。

3) 公の施設としての適正な管理運営

① 管理体制【項目別評価：B】

〔コメント〕

- ・適材適所の人員配置や研修により、適切に管理されている。
- ・利用者数等の数値の把握がなされていない部分があり、正確な数値の把握が求められる。

② 安全・危機管理への取り組み【項目別評価：B】

〔コメント〕

- ・大浴場の衛生管理、危機管理マニュアル、『りるぽ』の入場前の注意書きなど危険防止を図る取組は問題なく実施されている。
- ・『りるぽ』を利用する保護者へルールの周知を徹底し、危険防止を図る取組の強化を期待する。

4) 自主事業の取り組み【項目別評価：B】

〔コメント〕

- ・施設の利用対象者の幅が広がったことで自主事業の幅も広がり、多数の事業を企画・実施している点は評価できる。
- ・総募集人数より延べ参加人数が下回っている事業も散見されるため、イベント数・参加者数の増加を図り結果として収益増につながるよう努めてもらいたい。

※総評の5段階評価基準

評価	
S	卓越した優れた内容を実施した。
A	標準的な水準よりも優れた内容を実施した。
B	標準的な水準を満たした内容を実施した。
C	概ね標準的な水準の内容を実施したが、努力が必要である。
D	標準的な水準の内容を実施できなかった。